

2017年度 夏期海外IT研修プログラム 募集要項

立命館大学情報理工学部では、以下の海外留学プログラムの参加者を募集します。
いずれも夏期休暇中に出発する約2～5週間のプログラムです。
奮ってご応募ください！

1. 全体プログラム

プログラム名	研修言語	対象回生	派遣先国	滞在形態	募集人数	派遣期間（予定）
「アメリカ・ワシントン大学」 海外IT研修プログラム	英語	2～4回生	アメリカ	ホームステイ	25名	8月4日～9月9日
「インド・シンピオス国際大学」 海外IT研修プログラム		3・4回生 M1・2	インド	学生寮	20名	8月4日～9月11日
「中国・東北大学」 短期海外IT研修プログラム		3・4回生	中国	学生寮	15名	8月26日～9月9日
「アメリカ・ウースター工科大学」 海外IT研修プログラム		2・3回生	アメリカ	学生寮 または アパートメント	15名	8月9日～8月31日
「アメリカ・カリフォルニア大学・ デービス校&シリコンバレー」 海外IT研修プログラム		1・2回生	アメリカ	ホームステイ & ホテル	25名	8月10日～9月5日

2. 応募期間および応募方法、選考結果

2017年4月10日（月） 13：00～5月8日（月） 10：00締切（厳守）

（1） 申込方法

情報理工学部HPよりWeb申込み

<http://www.ritsumeai.ac.jp/students/ise2/>

※「グローバル（海外プログラム・語学講座など）」の項目の「海外プログラム」から申込みページにアクセスできます。

情報理工学部HP＞在学生のみなさんへ＞グローバル（海外プログラム・語学講座など）＞海外プログラム

※十分余裕を持って申し込んでください。期日時以外は受け付けません。

※システムメンテナンスのため応募入力ができないことがあります。余裕を持って申し込んでください。

（2） 受付締切

2017年5月8日（月） 10：00

（3） 選考

申込時レポートによる選考を経て派遣者を決定します。結果は、CAMPUS WEBの個人通知にて発表します。

結果発表：2017年5月12日（金）

3. 全体スケジュール（各プログラム共通）

4月10日・11日・12日	プログラム説明会に参加
5月8日（月） 10：00	申込み締切
5月12日（金）	参加許可者発表（CAMPUS WEBにて）
5月25日（木） 18：00～19：30	事前ガイダンス（合同） @クリエーションコアCC101
5月27日（土） 13：00～16：10（予定）	保健センターガイダンス（予防接種・健康管理） 危機管理ガイダンス @教室未定（決定次第お知らせします）
7月05日（水） 18：00～19：30	出発前最終ガイダンス @クリエーションコアCC101

※上記日程は予定です。変更の場合には、参加学生に予めお知らせします。

※上記日程以外に、プログラム毎のスケジュールがあります。

4. 日本学生支援機構海外留学支援制度の支給

日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者のうち、一定の成績基準と家計基準を満たし、研修後にレポートを提出することで、日本学生支援機構より奨学金が支給される場合があります。申込時に支給希望意思を確認した学生のうち、奨学金支給者には別途案内しますので、個別の申込みをする必要はありません。

- ◎成績基準：文部科学省成績評価係数2.30相当（GPA3.5程度）以上（前年度成績）
- ◎語学基準：TOEIC® LISTENING&READINGテスト400点以上（TOEFL® Test の場合、PBT (Paper-Based-Test) 435点以上、iBT(internet-Based-Test)41点以上、TOEIC Bridge® Test 141点以上。IELTSの場合、5.0(Academic Module)以上）、もしくは前年度の語学成績で成績評価係数2.30相当以上
- ◎家計基準：年収・所得の上限 給与世帯955万円程度、給与所得以外の世帯469万円程度

5. 応募前の確認事項

本プログラムへの参加に際しては、「プログラムに参加するにあたっての遵守事項」（別紙）を熟読してください。健康・安全管理や現地での行動、経費にかかる事項等に関する重要事項を記載しています。参加者には内容確認の上、「遵守事項誓約書」を提出いただきます。詳しくは、事前ガイダンス（合同）で説明します。加えて、以下の点について確認してください。

- （１）海外に身を置き学び、生活することは、かけがえのない貴重な経験となると同時に、時には困難やストレスを伴うことが予想されます。現地滞在中の様々なトラブルについては、基本的に自己の責任において対処することになりますので、現地においては十分な自覚を持ち、責任ある行動を心掛けてください。
- （２）健康面に関して、プログラム参加学生は定期健康診断（出発日から遡って1年以内）を受診していることが必要です。受診していない方は必ず保健センターに相談してください。また健康上の不安がある場合は、必ず保健センター医師に相談してください。
- （３）本学の指定する海外旅行傷害保険に全員加入することを義務付けます。個別に他の保険に加入している場合も、本学の指定する海外旅行傷害保険に加入してください。
- （４）個人情報の取り扱いについて
書類に記入してもらう個人情報は、派遣者の選考・渡航に関する手続や本学からの連絡、および今後のプログラム内容の改善を図るため、個人が特定されない学内統計資料の作成目的のみに使用されます。また、派遣先大学および旅行代理店・保険会社に対して、渡航手続・保険手続を進める上で必要な情報についてのみ提供されます。

6. パスポートについて

（１）パスポート有効期限

各プログラムの参加期間に伴い、それぞれ下記有効期限まで有効なパスポートが必要となります。現在すでにパスポートを所有されている方も、パスポートの有効期限が申込みプログラムの条件に合っているか再度ご確認の上、応募してください。

プログラム名	必要な有効期限
「アメリカ・ワシントン大学」海外IT研修プログラム	2017年12月中旬
「インド・シンピオス国際大学」海外IT研修プログラム	2018年3月中旬
「中国・東北大学」短期海外IT研修プログラム	2018年3月中旬
「アメリカ・ウースター工科大学」海外IT研修プログラム	2017年11月末日
「アメリカ・カリフォルニア大学・デービス校&シリコンバレー」海外IT研修プログラム	2017年12月中旬

（２）パスポート取得に関する注意事項

- ・ビザ取得や航空券予約の関係上、現在パスポートを所有していない、あるいは更新手続きが必要な場合は、5月12日（金）までにパスポートの取得申請ができる方に限り、参加申し込みを認めます。
 - ・新規でパスポートを取得される方は、戸籍謄本等の書類が必要なため、早めに取り寄せるようにしてください。取得には申請から1～2週間程度時間がかかりますので、余裕を持って手続きをしてください。
 - ・パスポート残存期間の要件は、予告なく変更されることがありますので、残存有効期間が出発時6か月未満の場合には、更新されることをお勧めします。ただし、更新はビザ申請までに必ず行ってください。ビザ申請後の更新は認めません。
- また、乗継地により、旅券残存条件が異なる場合もあります。

◆お問い合わせ先◆

立命館大学 留学サポートデスク

〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1

TEL: 077-561-4881 FAX: 077-561-4882 メールアドレス: itprj2@st.ritsumei.ac.jp

受付時間：月～金 10：00～17：00（11：30～12：30を除く）

プログラム名	2017年度 インド・シンビオシス国際大学IT研修プログラム
派遣先国・地域	インド・ブネ
期間	2017年8月4日（金）～9月11日（月）（予定）（ただし、前後に事前・事後講義あり） ※フライトスケジュールの影響により日程が変更になる場合があります。
滞在形態	シンビオシス国際大学の留学生寮（期間中一部にホームステイあり）
担当教員	平林 晃 教授
プログラム概要	情報理工学部/研究科「インド・ブネ シンビオシス国際大学海外IT研修プログラム」は、インドのブネ市にあるシンビオシス国際大学で集中的に学ぶIT教育プログラムです。より高いレベルの英語運用能力・異文化適応能力の養成を図ることに加え、インドプログラムは、世界規模で進展するIT産業界を体感できるIT先進国において、専門的かつ実践的なITの知識・技術を学ぶものです。3・4回生の学部学生、および情報理工学研究科博士課程前期課程に所属する学生で、基礎的なIT知識（主にオブジェクト指向技術）および英語の基礎学力（TOEIC® LISTENING&READINGテスト500点以上が望ましい）を持った学生を主たる対象に実施します。 ・高度なIT知識・技術を修得する IT技術、特にオブジェクト指向技術は、将来SEを目指す学生にとっては重要な核技術であり、世界に通用するソフトウェア技術者になるためには必須と言えます。研修中にお世話になる（株）ソフトブリッジ・グローバルスタディーズは、東芝、凸版印刷、NEC、日立などの日本のトップIT企業のSEに対して英語による中・長期の滞在型IT技術研修を実施するなど、ITに関する教育訓練について十分な実績を持っています。講師はシンビオシス国際大学の教員です。このような環境でオブジェクト指向技術に関する知識や技術を体系的に学習することを通じて、IT核技術に関する専門知識を深めるとともに、実際に活用する技術を身につけます。 ・IT産業の世界的な進展を体験する。 インドは、世界有数のIT教育水準を誇り、欧米向けのオフショア開発を中心にIT産業において急激な成長を遂げたIT大国です。米国企業のコールセンターの夜間対応を担うとともに、ソフトウェア開発基地として欧米のIT産業から巨額の投資を受けるなど、その役割はマスコミにも大きく取り上げられています。今回のプログラムでは、そのIT大国でIT技術を修得するとともに、IT企業を実際に訪問することで、世界のソフトウェア開発現場の最前線を肌で感じ取ることができます。また、（株）ソフトブリッジ・グローバルスタディーズではインド人SEも日本語でIT技術を学んでおり、交流の中から、現地のIT技術者の技術レベルや生き方に触れることができます。 ・英語で学ぶ すべてのプログラムは英語で行われます。世界のIT技術の公用語は英語であること、日本企業も海外にオフショアでソフトウェア開発を外注する傾向が加速しており、仕様打合せなどで英語を使用する機会が急増していること、多数の外国人技術者を雇用する日本企業が増えてきていることなどを考えると、英語でIT技術を学ぶことは不可欠です。また、世界で英語を話す人の数が増え、もともと多い国がインドなのです。
プログラム応募条件	次の要件を全て満たすこと ①情報理工学部3・4回生、情報理工学研究科博士課程前期課程1・2回生 ②TOEIC®LISTENING&READINGテスト400点以上（TOEFL® Test の場合、PBT (Paper-Based-Test) 435点以上、iBT(internet-Based-Test)41点以上。TOEIC Bridge® Test 141点以上、IELTSの場合、5.0(Academic Module)以上）、もしくは前年度の語学成績で文部科学省成績評価係数2.30以上（GPA3.5程度） * 上記を条件とするが、TOEIC®LISTENING&READINGテスト500点以上が望ましい。 ③基本的なIT知識（特にオブジェクト指向技術）を有する者が望ましい。 ④事前講義・事後講義への出席、帰国後の課題提出 ※事前講義、事後講義に出席しない場合、派遣選考の取消または科目不合格（F評価）になることがあります。

成績評価・単位取得	プログラムの修了者には、2017年度後期開講科目として単位が授与されます。成績評価は、現地での評価を参考としつつ、本学の担当教員が行います。 (1) 受講対象 : 学部3・4学生、博士課程前期課程院生 (2) 授与単位 : 4単位 (3) 科目名 : 【情報理工学部】 単位 : 4単位 単位授与科目 : 専門科目分野・キャリア養成科目「海外IT研修プログラム (インド)」 【情報理工学研究科】 単位 : 4単位 単位授与科目 : 共通科目「海外実習」 (4) 評価 : 本学の基準に基づいて5段階評価 (5) 本学担当教員 : 平林晃教授、高田秀志教授、DAUER HARRY准教授、JEREMY WHITE准教授 (6) その他 : 後期開講科目として取扱います。また、単位は受講登録制限外です。期間と重なる夏期集中講義の受講、およびプログラム期間と重なる追試験の受験はできません。
プログラム参加費用	■参加費用 (概算) *参加人数によって補助金額は増減します。 550,000円程度 - (渡航費/プログラム費大学負担202,500円) = 実質347,500円程度 ○参加費用に含まれるもの : 現地研修費用 (授業料他)、現地ホームステイ・宿泊費、現地食費 (朝夕食) 現地空港送迎 (往復)、往復航空券、 国内・現地空港税、燃油サーチャージ、航空保険料、海外旅行傷害保険料、ビザ取得費用 ○参加費用に含まれないもの : パスポート取得費用、日本国内の交通費、現地食費 (昼食・追加分)、現地での個人費用 (行動費、電話代、医療費など)、超過手荷物料金など ■参加費に関する留意事項 ①参加費用は参加者20名をベースに算出したプログラム費用です。参加人数によって費用が増減します。参加費納入の案内は、参加者確定後にお知らせします。 ②利用する航空機の適用運賃・料金が、著しい経済情勢の変化などにより、通常想定される程度を超えて改訂されるときは、参加費用を変更することがあります。 ③外国為替レートの関係で、現地研修費用・航空運賃等が変更し、参加費が変動する場合があります。 ④上記参加費用はあくまでも目安です。上記①～③の事由等で研修費用が上記概算金額より大きく変更する場合は、参加費確定前に参加者に連絡します。 ⑤参加者選考後にキャンセルした場合は、キャンセル料が発生します。キャンセル料には、現地プログラム費用、往復航空券 (国内・現地空港税、燃油サーチャージ、航空保険料等を含む) 費用が含まれます。
奨学金 (「日本学生支援機構海外 支援制度 (短期派遣) 」も 参照のこと)	日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者のうち、一定の成績基準と家計基準を満たし、研修後にレポートを提出することで、日本学生支援機構より奨学金 (120,000円/人) が支給される場合があります。申込時に支給希望意志を確認した学生のうち、奨学金支給者には別途案内しますので、個別の申込みをする必要はありません。
募集人数	20名程度
事前講義 (「全体スケジュール」も 参照のこと)	事前講義を以下の日程で実施します。事前講義は授業のため、すべて出席する必要があります。 第1回目 5月25日 (木) 6限目 (18:00～19:30) @クリエーションコアCC103 第2回目 6月1日 (木) 6限目 (18:00～19:30) @クリエーションコアCC103 第3回目 6月8日 (木) 6限目 (18:00～19:30) @クリエーションコアCC103 第4回目 6月15日 (木) 6限目 (18:00～19:30) @クリエーションコアCC103 第5回目 6月22日 (木) 6限目 (18:00～19:30) @クリエーションコアCC103 上記日程に変更が生じた場合は、参加学生に予め連絡をします。
事後講義	9月下旬予定。詳細は決まり次第、参加学生に予め連絡します。事後講義は授業のため、必ず出席をしてください。
その他	